



五月三日 憲法記念日

寄稿

私と憲法

鈴木由紀枝

美術室に貼られていた映画「橋のない川」のポスターが、私を住井さんと出会わせてくれた。ポスター中央で翔る少年孝二と少女まちえの姿が鮮烈で、部落がなにかもわからずに、映画を見に行き、図書室で本を借り夢中で読んだ。

あれから五十年以上過ぎたが、住井さんは、いつも私の心の中に生き、生きるべき道を示してくれている。挫けそうになつたとき、背中を押し、正しい道へと戻してくれる。確かなその道は、青年運動から始まった私の活動の原点と言えます。

しかし、憲法を真剣に学んでこなかった、という弱点は否めず、テストのためだけに覚えた日本国憲法というやつは、悲しいことにすっかり忘れていた。憲法全文を覚えなないと卒業できなかった高校を卒業した友は、今でもほとんど覚えていると言っていた。彼は、覚えただけではなく、憲法をしっかりと根付かせ、活動の中で生かしてきた。

住井さんも言っている「こんなへたくそな文章だけが書いたんだ。私なら、橋のない川のようにもつと上手に書く」それなら覚えられると。それでも京都の蟻川さんを真似て小さい憲法手帳をこしらえバッグに忍ばせていたそう。

私が新婦人の「憲法手帳」を常に持ち歩いているのは、ひとえに安心感のためかもしれない。それもそれで良し、憲法を手放さないことの一つだ、と思っている。

〈憲法第十四条 すべて国民は、法の下に平等であつて、(中略) 差別されない。〉

住井さんが、生涯をかけて説き続けた差別のない社会と、誰もが平等に人間らしく生きて行くための原点、平和への強い思い。〈戦争だけは決してしてはいけない〉それが凝縮された日本国憲法第九条は、この五月の空によく似合う。



今月の予定です

＜コロナの感染状況で変更・中止することがあります。＞

5月7日(日) 13:30～15:30

DVD視聴と意見交換 「日本とノルウェー刑務所の違い！」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

5月9日(火) 16:00～17:00

9の日行動 九条通信配布・ボードでアピール
梅郷駅 通路 野田・九条の会

5月13日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 九条の会発足時のDVDを見る・あらためて5月例会活動について考える
中央公民館 講座室 野田・九条の会

5月19日(金) 13:30～15:30

ちょっと硬派な「おしゃべりカフェ」 社会や政治のことなど気軽に
おしゃべりしましょう。
北コミ 和室 (イス準備します。) 野田・九条の会

6月4日(日) 13:30～15:30

DVD視聴と意見交換 「嘘と政治と民主主義」米議会乱入事件」
南部梅郷公民館 南地域九条の会



4月の例会では

「賃上げと物価高」の問題で意見交換をしました。生活の隅々まで影響が及んでいる声がでました。

＜声の一部として＞

- ・ロシアのウクライナ侵攻により電気・ガス代が高騰し、酪農家は餌代などのコストが増え経営難になっている。
- ・自公の政治家たちには国民生活の苦しさは何も実感していない。
- ・国民は等しく生きる権利があるのだが、国民性なのか生活保護など受けにくい雰囲気や環境があるのではないかな。
- ・10月から始まるインボイス制度により小規模事業者などは苦しくなる。

▷ 5月の例会は13日(左の予定を参照)です。ぜひお出かけください。◁



講演会

報告

先月23日行われた青井未帆さんの講演会は100名を超える参加者で、中央公民館講堂は満席でした。昨年12月閣議決定だけで重要な安保3文書が改訂されました。自衛権の解釈が国会の議論もなく拡大されたということです。「戦争を起させないために市民の参画する新たな安全保障の枠組みを作りたい」と青井先生は話されました。先生が提言された「安保3文書と私たちの平和構想力」が雑誌「世界」2023年5月号に掲載されています。

